



特定非営利活動法人
神奈川県環境学習リーダー会
会報 No. 60 2007年12月
 2008年1月

目次

役員会報告..... 1	生ゴミ処理見学会のご案内 ... 3	横浜風力発電「ハマウイング」見学会 10
「かながわコミュニティカレッジ」- 環境ボランティア養成講座開講..... 2	温暖化防止の集いに参加して 4	リレー登場
第7回親子で楽しむ環境展開催案内 2	部会報告	四国88カ所巡拝を終えて 11
第14回市民環境活動報告会開催について 3	エネルギー部会 4	グリーン部会に参加一年を振り返り 11
	ケナフ部会 5	掲示板 12
	大気環境部会 6	編集後記 12
	水環境部会 6	
	グリーン部会 7	
	会員の広場	
	15期新入会員のメッセージ .. 7	



役員会報告

(理事 荒谷 輝正)

12月役員会 (12月13日)

1. 会員数について

11月30日付で、正会員122名、賛助会員32、特別会員7名、合計161名。

会費未納者(意思表示不明の方)6名については、引き続き荒谷理事が電話で確認にあたる。

2. 課題検討会中間報告に関して

課題検討委員会答申に対する中間報告会を課題検討委員会の安丸委員長と相談し、1月10日(木)16:00から実施することになった。

会費未納者のゼロ化・外部講師謝金の取り扱い・事務局費の確保についても議論する。

NPO法人化に伴い、昨年度までと異なり、会の財政状況に関し、月々の実態に関して理事会として認識・把握してゆく必要が不可欠の指摘がなされた。

3. 次期役員候補者・選考に関して

荒谷理事、内藤理事、吉田代表の3名を選考委員とする。

4. その他

『コミュニティカレッジ』の開催場所の変更(鎌倉市神戸川)が、斉藤理事より報告された。

柳川氏から、(株)山武の工場(生ゴミ処理機)見学の提案がなされた。

これに関して、地域支援グループが確認・日程の把握を急ぎ、理事会メンバーへ連絡する事とした。

1月役員会 (1月10日)

会員数について

正会員125名、賛助会員30、特別会員6名、未確認5名合計166名。

なお、会費未納者については今回の会報発送時に文章・振込用紙を同封し、以後振込みが無い場合は規定により処理することに決定。

審議事項

1. 課題検討会の中間答申について

吉田代表より、「課題検討会」で課題提起された件についての、中間答申について説明がなされ検討した。謝金、日当に関して現状の基盤からみて細則に決めるには至らなかった。その他については語句等の修正をして了解された。

2. 共同オフィスの次年度使用申込の件

1ブース 事務机 1個使用 4,800円/月

2ブース 共有テーブル使用 2,400円/月

3ブース 時事ブース使用 12,000円/月(本年度使用)

があるが、1~3ブースの順で申し込むこととした。応募原稿は熱海理事が作成する。

3. 「親子で楽しむ環境展」の開催の件

・6月14日(土)昨年と同じく新都市プラザの通路で実施する。

・展示場所が狭いのでK・リーダー会を中心とした展示とし、K・リーダー会の知名度をアップ出来るような団体に参加をお願いすることに決定。

4. (株)山武工場見学開催の件

熱海地域サポート部長より、

日時：3月8日(土)am11:00～12:00

集合場所：藤沢駅

募集人員：20名

で実施するとの報告があり、了承された。

5. 決算資料の提出の件

- ・各部会の発生費用についての提出は2月末迄に提出する。なお、3月支出が発生する場合は見込みを記載して、3月末に領収書を提出する。
- ・また、決算役員会を以下のように開催することにした。

3月13日(木) 定例会(理事会)

4月10日(木) (理事会)

4月20日(日) 総会資料発送

4月24日(木) 新旧役員会

5月17日(土) K・リーダー会総会



「かながわコミュニティカレッジ」 - 環境ボランティア養成講座 - 平成20年1月15日に開講！！

総括管理者 猪股 満智子

神奈川県が推進している「かながわコミュニティカレッジ」の一つである環境ボランティア養成講座の企画・実施団体として応募するために、平成19年7月から企画役員会を立ち上げ、多くの方の議論に基づき立案した企画が採用されたことはすでに当会の会報No.58で報告しました。このボランティア養成講座がその後の企画役員会でさらに検討し、講師の方々への交渉などを経て、平成20年1月15日(火)に開講し、3月25日まで11日(18コマ)の講座を行います。ここに至るまでには、神奈川県県民部県民総務課NPO協働推進室の方々にご指示やアドバイスをいただき、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。お陰様でさらに充実した内容で開講することができました。

この講座に多くの方が応募してくださいました。大変ありがとうございました。受講者の方々が環境ボランティアとして地域で活動されるためのスキルアップとなり、さらに活動を実践するためのそれぞれの方が必要に応じたあるいはご意向に沿った人脈や地域・場所・テーマなどが得られる講座にしたいと考えています。そのために、3月まで続く長丁場でありますので、受講者のご要望を加えつつ、より充実した講座を目指します。

第7回 親子で楽しむ環境展 開催案内

代表理事 吉田 榮一

第7回親子で楽しむ環境展を平成20年度も昨年と同様に下記の日時・場所で開催することを平成20年1月の役員(理事)会で決定しました。今後、理事を中心として実行委員会を設置し、企画・運営を行います。

今年は京都議定書の第一約束期間の初年ですし、

第7回親子で楽しむ環境展と洞爺湖サミットの開催される時期とが非常に近いので、従来と同じく温暖化防止活動の一環としての開催ですが、この時期に相応しい内容にし、神奈川県、横浜市、企業のご協力を得ながら、できるだけ「かながわアジェンダ推進センター」と協働で実施したいと考えおり、会員の皆様からのアイデアやご意見、ご参加をいただいで、特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会の特徴を活かしたイベントにしたいと思っております。

そのために、会員の皆様には、まずはいろいろのアイデアやご意見を運営委員(理事)にお寄せくださいますようお願いいたします。

記

親子で楽しむ環境展の開催案内

日時：平成 20 年 6 月 14 日（土）10:00～17:00

場所：新都市プラザ（横浜そごう地下 2 階正面入口前）



第 14 回市民環境活動報告会 開催について

見て、聞いて、話し合いませんか

実行委員長 猪股 満智子

県内各地で自主的に環境学習活動や環境保全活動などに取り組んでいるグループによる活動状況や研究成果等の発表と参加者との意見交換を通じて、環境保全並びに改善の輪を広げていくことを目的に始まった県環境科学センター事業は、初めの県環境学習リーダー、そして環境実践講座修了者等のあゆみとともに、さらに環を広げようと県地球温暖化防止活動推進員やかながわカウンセラー協議会、市民グループの方々にも加わっていただき、実行委員会方式での運営となって、14 回目を迎えます。

次年度より、当会の NPO 化に伴い、新たな運営方式への移行、模索の必要性が出てまいりました。まず会場に足をお運びいただき、見て、聞いて、話し合い、自分のものにしていただくと同時に、リーダーとしてどうあったらよいか、また方向性は？など、おおぜいで考えていきたものです。

生ゴミ処理見学会のご案内

地域活動サポート部 熱海 宗信

テーマ：＜企業の生ゴミ処理の実状と家庭生ゴミ処理の促進について＞

生ゴミを農業堆肥に！！

おいしい無農薬野菜、穀物を食べよう。

みんな農業技術を！食糧難対策の準備だ！！

記

開催日：2008 年 3 月 8 日（土）11 時～12 時（1 時間）

会場：株式会社 山武 藤沢テクノセンター 正門集合 10 時 50 分

（敷地内の駐車は出来ませんので、ご注意と

Think Globally. Act Locally !

「仮想水」（バーチャルウォーター）という言葉をご存じだろうか。

肉や小麦などを輸入することは、それを作るのに要した水を輸入することでもある。この間接的に輸入する水を仮想水というのだ。

《07 年 12 月 7 日 朝日新聞朝刊 社説 水サミット》

基調講演では「世界の水問題と日本」と題して地球規模の水について、東京大学生産技術研究所教授・沖大幹さんが問題提起をさせていただきます。

日時：平成 20 年 2 月 17 日（日）

10 時～16 時（開場 9 時 30 分）

会場：かながわ県民センター 2 階ホール

主催：第 14 回市民環境活動報告会実行委員会

- ・詳しい内容は同封のチラシをご覧ください。
- ・報告会終了後に交流会を予定しています。皆様のご来場をお待ちしています。

ご協力をお願いします。）

住所：藤沢市川名 1-12-2（株）山武 藤沢テクノセンター。

（JR 藤沢駅から海に向かって左側大船方面へ線路伝いに徒歩 10 分。

JR 湘南電車の窓から大型のデジタル温度・湿度表示が見えます）

内容：生ゴミ処理機の実機見学：30 分、環境解説：30 分

解説と指導：（株）山武・環境事業推進部 長谷川様、田辺様（K・リーダー会 15 期生）のお二方

参加人数：20 名（対象者：小学校高学年から社会人まで）

参加連絡先：参加ご希望の方は、必ず事前に『地域活動サポート部』熱海（アツミ）までご連絡

ください。

TEL : 090-9683-4423 / FAX : 042-771-0319

E-mail : nrn21398@nifty.com

応募の締切日 : 2008年2月13日(水)

緊急時連絡先 : 田辺様 :090-4831-9083 (自宅:0463-58-7560)

温暖化防止の集いに参加して

前代表 安丸 元一

19年度・温暖化防止の集いは、12月9日にかながわ労働プラザで開催されました。

午前中の各種表彰式(かながわ地球環境賞、レポートコンクール表彰式、一村一品知恵の輪づくり表彰式)に引き続き5分科会(エネルギー、リサイクル、クルマ・そら、みどり・みず、環境教育・学習)に別れ、それぞれ活発に事例発表が行われました、参加した「そら・くるま」分科会の模様を報告します。

発表者は行政(2)、企業(2)、団体(2)、NPO(4)の10団体となり、この中には、かながわ地球環境賞受賞1団体、一村一品表彰受賞3団体、わがK・リーダー会大気環境部会が含まれます。

行政がリードし企業・市民と協働で取り組むエコドライブ推進、環境に優しい車開発する企業、全社員でエコドライブに取り組む企業、環境に配慮した交通のあり方を訴えるNPO、またNPOがリードし行政・企業を巻き込んだエコドライブ推進、そしてそれらをチェックする大気モニタリングと、車社会が直面している環境・ひいては温暖化問題を三十数名で真剣に討議しました。

本年からは京都議定書で約束した効果を出すと同

時に、ポスト京都議定書に向けた温暖化防止方策を議論する機会も増えると思いますが、その節目に当たりその大きな原因である車社会のあり方について有意義な発表・議論でありました。われわれ市民が自身のエコドライブを益々推進し、増大している運輸部門のエネルギー消費量削減に貢献するべきと痛感しました。

その後、5分科会の責任者から討議報告があり、それぞれの分科会の温暖化防止への意気込みを強く感じられた全体会議でした。最後になりましたが、各種表彰式で表彰された団体に対し敬意を表し、事例発表された団体、当会を代表され発表された大気環境部会長にお礼を申し上げます。



部会活動

エネルギー部会

部会長 安藤 紘史

活動予定('08年2月~'08年4月)

定例部会(於:県民サポートセンター)

2月13日(水) 15:30~17:50 601号室

3月12日(水) 15:30~17:50 601号室

4月9日(水) 15:30~17:50 601号室

横浜子ども科学館の環境教室

「節電コンセントを作ろう」

2月9日(土) 13:30~16:15

活動報告('07年12月~'08年1月)

風力発電及び東京電力横浜火力発電所見学

11月29日午後

児玉さんより別途報告記事を投稿

12月度定例部会:

12月12日(水) 16:00~18:00

場所:県民サポートセンター 602号室

参加者:岩沢、小田、長澤、藤木、二村、児玉、安藤

新入会員(村上さん)の報告

風力発電見学会報告

横浜子ども科学館講座打ち合わせ

CO₂濃度測定器使用結果報告

啓発活動で利用するにあたって

- ・屋外より屋内の濃度変化を見せる方が効果的
- ・太陽光下であれば光合成の効果も数分で現れるので効果的。

(ただし、湿度の高い環境では問題あり。)

1 月度定例会 :

1月14日(水) 16:00~17:30

場所: 県民サポートセンター 601号室

参加者: 岩沢、小田、長澤、藤木、二村、安藤

来年度の役員について

結論出す。

購入実験機材について

予算内で手の届く直流電圧計と電流計が見つかり、各1個購入することとした。

行政の温暖化対策方針に関して

次々と意欲的な方針が自治体から出ている。そこで、東京都「気候変動対策方針」、神奈川県「クールネッサンス」、横浜市「脱温暖化推進方針」について要点を学んだ。国が先延ばししている抜本的対策(税や規制)や中長期目標の明確化に取り組んでいる。これらの方針が(検討から)具体的に施行される様見守りつつ、微力でも協力できる事を探して行きたい。

「京都議定書目標達成計画の評価・見直しに関する最終報告(案)」の件

中央環境審議会地球環境部会からこれに対する意見募集が出ている。

抜本的取り組みに関して余りにも回避しているので、意見を出す事とした。

ケナフ部会

ケナフ部会長 荒谷 輝正

ケナフ部会員が携さわった 2007年12月~2008年1月までの活動及び2月~3月迄予定について報告します。

1. ケナフ部会定例会

- ・12月9日 ケナフ部会例会 圃場の残菜を整理して整地する。ケナフ栽培9年目も無事終わったと言う感じ、来年10年を迎えるに新しい企画が出来ればと話し合う。CO₂検出センサー、ケナフ、ダンボールを利用した教材が出来ないか検討する事になった。

2. 対外活動

- ・11月24日 相模原市小山公民館主催「ケナフを使って自分だけのハガキを作ろう」講座開催 小山公民館の環境講座の一環として実施したもので小学校低学年から大人まで約60名参加して大変盛況でした。草から紙が出来ることに感動されていました。(担当 荒谷)



小さな子どもも楽しみました。

- ・12月8日 相模原市市立環境情報センターのミニ講座で紙の丸芯を利用した「紙ポックリ作り」実施。きれいな作品が出来て満足そうでした。



作品作りを指導しているところ。



紙すきを実演しているところ。



出来た作品で満足そう。

・12月8日開催予定の平塚リサイクルセンタでのく
るりん祭りは当施設が火災の為中止になりました。

3. 今後の予定

1月20日 ケナフ部会例会。CO₂ センサーを利用
した教材作り。

2月、3月は例年どおり畑起こし、堆肥入れをし
ます。(期日は未定)

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定 (08年1月~3月)

1月22日(火) 13:30~16:30

1月29日(火) 13:30~16:30(集合; 12:50)

於: かながわ県民センター11階 NPO協働推進室
神奈川県県民部 NPO協働推進室受託事業「かな
がわコミュニティカレッジ環境ボランティア養成
講座 “大気環境”」の講師役

2月9日(土) 13:30~16:30 NPOセンター大船
定例部会: 新入会員紹介、12月度NO₂一斉測定
の評価、活動総括と次年度に向けて活動方針案の
検討、その他

2月17日(日) 10時~16時 県民センター2階ホ
ール 第14回市民環境活動報告会・ポスターセ
ッションで、「H19年度NO₂簡易測定報告」
「化学物質排出量から見た有害性の比較」を発表
します。

活動報告(07年11月~08年1月)

空気はきれいになってきました。

しかし、光化学オキシダントの頻発が...

11月24日(土) 13時~16時 KERC学習室、実
習室 20名

6月度NO₂一斉測定分析結果が総じて未だかつ
てないくらい低い数値濃度であったこともあり、1
2月測定のろ紙装填作業の前に、恒例の学習会「最
新の大気環境」と題して相原敬次専門研究員に講演
していただきました。簡単に内容をご紹介します。

『NO_x・PM法や県NO_x・PM総量削減計画等に
より窒素酸化物(NO_x)をはじめ、浮遊粒子状物質
(PM)、非メタン炭化水素(NMHC)を含む揮発性
有機化合物(VOC)なども、相当改善されてきてい

る。それにもかかわらず光化学スモッグ注意報の発
令日数は、'72年をピークに減少してきたが、近年
また気象条件によってはオゾン(O₃)などの酸化性
物質が高濃度になり頻発の傾向にある。黄砂など大
陸からの影響が観測されているが、O₃濃度に与え
る影響は少ないと考えられる。

大山のモミ林は'70年頃の京浜工業地帯の工場を
発生源とする二酸化硫黄(SO₂)を主とする大気汚
染と、ハラアカマイマイという害虫による複合的な
ものであった。丹沢のブナ林における森林衰退は、
光化学オキシダント(オゾン)による影響にあわせ、
シカによる下層植生の劣化による土壌水分ストレス、
ブナハバチによる食害などの複合影響によるものと
考えられる。酸性雨によるものではない。

今後県自然環境保全センターや国立環境研究所
等と連携して検討を続けていきたい。』とのこと。

また当会による測定データも以上の説明を裏付け
るものであることと、地図データのみでないプレゼ
ンテーションへのヒントを例示し、アドバイスいた
だきました。

11月30日 13~17時 かながわ県民センター「地
球温暖化防止活動推進員専門研修“そら”」講師
役; 安藤、猪股 簡易型二酸化炭素濃度計を初使用

12月6日夕~7日夕の24時間NO₂一斉測定

12月9日(日) 13~17時 於; かながわ労働プラ
ザ「地球温暖化防止の集い」に参加; 井上、安丸、
猪股

12月15日(土) 13~16時 KERC実習室 NO₂
測定分析 19名

水環境部会

部会長 斉藤 昭一

本年2月~5月までの予定

2月2日(土) 15時、環境科学センター 会議室、
水環境部会、(懇親会)

4月20日(日) 9時、JR松田駅(山側9時集合)
酒匂川調査

5月18日(日) 9時、JR松田駅(山側9時集合)
酒匂川調査

水環境部会の皆様どうか宜しくお願いします。
今年はリーダー会が結成されて15周年を迎える。
昨年にはNPO法人ともなり今後益々多角的な立場

での活動が期待されるようになると思う。それにつけてもわが部会にとって嬉しい事は昨年多くの人材に参画していただいた事である。今年はその精鋭達の今までの経験と類まれな探究心に培われた知恵を最大限に発揮していただきながら、酒匂川探水隊の活動を推し進めて行きたいと思っている。私達の活動はただ単に川に入り其処に棲息する生物の種類を取り上げて議論を展開しているわけではない。地球上に有する水の僅か3%にも満たない「淡水」身近に点在する水の状況を見るにつけ、到底想像することさえ不可能な数字に凡愚なわれわれは気がつきもしないでいる。

その川に生息する生物を知る事によってその水が

「きれい、ややきれい、ややきたない、きたない」の4つの基準の中のどういう判定に示すのかを知るのである。

単純ではありますが、「汚れている水」・・・シマイシビル、イトミミズ、ユスリカ等が見られると、この判定になる。ではこれらの生物が発生した原因は・・・???。そこからがまた新しい闘いが始まるのである。「小さな小さな活動である」、誰も褒めてくれない、何の評価も得られない、本当に地道な活動である。でも「一滴の水に活力を得て明日のために生きぬく人類のために」、・・・今日もガンバルのである。

グリーン部会

部会員 齋藤 美代子

<今後の活動予定>

2月4日(月)10:00~12:00 ミーティング ひらつか市民活動センター

・コミュニティーカレッジ講座の確認と当日の練習

<活動報告>

12月2日(日)13:00~15:00 ミーティング ひらつか市民活動センター

・コミュニティーカレッジ講座内容の検討

グリーン購入とは商品やサービスを購入する時、安いくて良い物を選ぶと同時に、地球環境に配慮し、環境負荷の小さい物を選ぶ事です。

講座では「冬のおつかい」の紙芝居や、買物擬似体験をする事でグリーン購入の考え方を理解し

ます。また、グリーン購入の考え方を受講生が今後地域に広めて行くためどのようにして行くと良いかを、グループで話し合い理解をふかめて発表をする事で考えを共有します。

事前のワークシートを渡して自分の買物を記録し、当日持参します。それを、環境の視点で考えます。講座終了後ワークシートを渡し受講後の買物に対する意識の変化や、他者への働きかけの具体化などについて記入して講座最終日持参。

1月14日(月)9:30~12:00 ミーティング ひらつか市民活動センター

・コミュニティーカレッジ講座内容と準備について講座当日の役割分担と配布資料の確認、進行について検討する。

会員の広場

15期新入会員のメッセージ

神奈川県環境学習リーダー会に新たに加わった方々から寄稿をいただきました。

誰の為の環境問題か？

門間 光次(相模原市)

もともと環境問題に感心が有ったわけでは有りません。淡水の生物。特にプランクトンや水生昆虫に興味を持ち、あちこちの湿地や池沼を観察しているうちに、水の汚れが気に成り出し、水の問題は地球の問題だと気付いたのです。

水生昆虫と言うと、蛍やトンボ・タガメなどが注

目されがちですが、身近な水辺には他にもたくさんの虫やプランクトン達が生きています。そうした地味な昆虫やプランクトンの地道な生活が水の浄化を助けているのです。蛍は綺麗でも、大した働きはしていないと思います。そうした思いから、大和市の「泉の森」や横浜市の「四季の森公園」、座間市の「谷戸山公園」などで観察と啓蒙活動を続けています。

神奈川県環境科学センターには、石綿進一氏、野崎隆夫氏という水生昆虫界の権威がいらっしゃいま

す。このお二人の存在で環境科学センターを知り、研修を受けました。それが学習リーダー会へ入るきっかけとなりました。

地球環境を汚してきた人間が「環境を守ろう」と

~~~~~

## はじめまして

田辺 彰（平塚市）

10年前、企業の中で環境事業に手をあげたのがスタートです。それ以前は古生物・化石に熱中し、岐阜の上宝村や福井の和泉村など山、川の岩石を落とすによく出かけていました。環境破壊に気がつきはじめたのはその頃からです。2000年には当時の環境庁の“身近な生き物の調査”に参加しながら、ピオトープの調査や自己研究を少しづつはじめていました。一方、しばらくは仕事に励み家族を養ってきました。しかし1昨年ついに目覚めました。このままでは地球は、そしてかわいい孫たちの未来は確保出来るのだろうか。片っ端から各種研修を受けはじめ、その中でもインパクトがあったのが、

1週間タコ部屋で泊り込み農業実習研修でした。先生方や、16才から長老の私までの生徒たちとの環境に関する意見のぶつかり合いが、自分の今後の方

~~~~~

神奈川県環境リーダー会の入会に際して

村上 朝鼓（逗子市）

はじめまして！環境学習指導コース15期生の村上朝鼓です。この度は、諸先輩方がご活躍されているこの神奈川県環境学習リーダー会に入会させていただきありがとうございます。「県のたより」で環境についての学習会を何年間か見ていましたが、子どもがまだ小さかったため受講することをあきらめていました。昨年の4月に下の子が小学1年生になり、今回思い切って主人に相談したところ協力が得られ勉強することができました。毎週土曜日に、子どもたちをみてもらった主人には感謝しています。まだ子どもたちが小さいため、この会への入会も戦力になれないのではないかと躊躇しましたが、何事も初めてみなければ分からないと思いチャレンジする気持ちで入会を決めました。皆様には、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが出来る限り誠心誠意がんばるつもりですのでご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。

私は、子どものころ、自然の中を探検したり駆け回り遊んだ経験から今でも自然の中に身を置くこと

言うのもおかしな話だなと思います。人間が居なくなれば問題は解決するのですから。これからは人間以外の生物のために、出来る限り「元の地球」に戻す事が大切だと思っています。

~~~~~

向性を決めるきっかけとなりました。それから県の団塊世代カレッジ、自然環境保全センターのフィールドスタッフ、生命の星博物館の岩石実習、環境科学センター、観光ガイド研修（エコガイドツアー企画のため）さらに今年から県立公園指導員研修受講の予定など、まずは情報、人脈の拡大に力を入れつつあります。当会の水環境部会に入会させて頂いて、早々に酒匂川での調査に同行した時は、少年の頃に帰って興奮状態でした。実務的な事では企業コンサルの中で簡易型ISO14000の推奨・促進、また都会型農業（ベランダ屋上、ビル内農工場、及び食品リサイクルアグリネットワーク）の普及なども重要と考えています。

最後に終身テーマは“地球破滅防止そして間近な食糧難対策のため、環境保全活動及び農業技術の全員習得を子孫に継承して行きたい”と思っています。

~~~~~

が大好きです。しかし、高校、大学とその気持ちが隅におかれていました。子どもを産み育てていくうちに、自分のその気持ちにもう一度強く感じるようになりました。現在暮らしている逗子に、「自然の中で子どもをのびのびと遊ばせよう！」という育児サークルに参加するようになったのが、そのきっかけです。現在も、小学6年生～生まれただばかりの赤ちゃんまで、そして母も自然のなか異年齢で遊ぶ活動に参加しています。自分の経験から、自然を守りたいと考える人を増やすには、自然体験を子どものうちに存分にすることで心地よさや、すばらしさを感じることに思います。すこしでも、環境について考える人が増えるよう活動していきたいと思っています。よろしくお願いします。



いつの間にかレールに乗る

森脇 清 (横浜市)

柄にもなく、旅とまでは言えませんが、歴史・文化・人々の心情に触れるのが好きらしく、見たことのない地や知らない事には、ついつい食指が動いてしまいます。環境活動人材育成講座「環境学習指導コース」にしても、環境学習という被教育未経験に惹かれての受講という不純な動機だったのです。

本会報をご覧のみなさまには、新人の癖に紙面から生意気ですが、よろしく願い申し上げます。

今まで企業で少なからず環境に関わってきたものの、知識が企業サイドに偏っているだろうとの想いで、広汎見地から学習してみようと平塚まで通いました。企業には様々な経営理念があり環境活動も容易ではありませんが、環境方針と経営方針がリンクしてしまえば、後は業務として進行しますので、その企業のイナーシャだけなのです。ISOの認証取得そのものは余程のことがない限り取得できますし、取得後は誠実に取り組んでおれば更新も容易なのです。今まで複数の企業で取得・更新に関わってきましたが、環境をISO認証の枠内でしか見つめていな

リーダー会の皆様、はじめまして

山田 淳 (横浜市)

昨年、神奈川環境人材育成講座を卒業した山田淳と申します。現在、横浜市泉区に住んでいます。

現在環境問題で興味があることは、日本を含む先進国のグローバル化の拡大によって起きている環境破壊、南北問題。日本の食料自給率の低さ(食料をもっと自分達で作るべきだと思います)、遺伝子組換え作物、農薬、化学肥料の問題。地球温暖化問題。廃棄物の問題。熱帯林の破壊と、日本の人工林の荒廃。地域通貨。自然保護 などで

日本では科学技術の発達により環境問題などを乗り切ろうという考えも根強いですが、新しい技術は新しい製品を産み、新しい資源を使い、不平等で

今の自分

横井 大樹 (横浜市)

初めまして、環境学習指導コースの15期のメン

かったことに、今回の学習で大いに反省しました。地球環境データ、世界の取組動向、法律・条約の規制等について企業内で勉強・説明してきたのですが、実は私たち一人ひとりの生活意識、自治体の取組みこそが一番大きなファクターではないのか、とひとり思うに至り衝撃を受けました。

平塚での学習がトリガーとなり、神奈川下での取組み活動に目が向き、幾つかを覗くうちに、いつしかK・リーダー会のレールに乗ってしまいました。意気込んで颯爽としたものではありませんが、大気環境部に所属させて頂き、先日は実際に大気捕集と測定をさせてもらいました。元来、身体を動かすことや実測などが好きなタイプなので、厭わなく体得することができました。

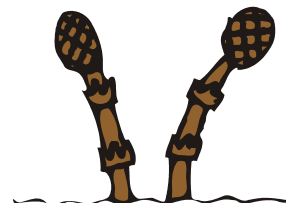
地球は既に異常気象状態ですが、私たちは子孫たちが使う自然を前借りしているのだ、という思いで、少しでも環境回復に貢献できることを願いつつK・リーダー会のレールに乗らせてもらっています。



すが自由貿易と主張する先進国が自国の極端に裕福ではない人々や途上国から様々な物や命を搾取することが前提となっているはず。そしてその為に地球への負荷が新たに増えてしまうため、縮小経済、自給自足経済が理想だと思っています。それは辻信一さんのスロー・イズ・ビューティフルの活動とも共感できることだと最近は思います。

現在就業中のため、活動できる日も休日に限られてきてしまうと思いますが、

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



バーで、講座の終了と同時に神奈川県環境学習リーダー会に入会させて頂いた。横井です。

都内の大学に通う大学3年です。大学では、車のタイヤのすり減りからでる粉塵を分析して、それを摂取すると人体にどのような影響がでるかを調べて

います。趣味は旅をする事で最近では伊豆諸島の島々を巡る事に、はまっています。学生時代に7つの島を全て回る事が小さな夢であります。

現在、環境活動は主に学生団体に活動しています。小さいお子さんや親子連れのご家族に自然体験型の環境教育を行っていて、アースガーデンやワークショップコレクション等のイベント出展では、竹を使って竹とんぼやバターナイフ。間伐材を利用した箸作り等を行っております。また、代々木公園などで四季を活かした自主企画イベントもやっております。先日は、落ち葉を使った活動をしてきました。

私の環境活動の目的は『地球環境の事を考えてくれる人を一人でも増やす！！』事です。環境活動に興味のない人には、興味を促す事を！興味のある人には、実際に活動する事を！実践したいと思います。そのためには、環境活動って『かっこ悪い。』『面倒

くさい。』という既存のイメージを壊し、自分で一番実感している『楽しい。』『面白い。』を全面的にアピールしていれば満足の行く活動ができるのではと思っています。

最後になりますが、リーダー会の活動には、時間の関係上なかなか参加はできないかと思いますが、自分も『環境』をテーマに活動している以上は力になれる事はあると思いますし、経験豊富な大人の方々の出会いは、個人的にも大変貴重な時間になるので、これからも何卒よろしくお願いします。



会員の広場

エネルギー部会見学会

横浜市風力発電「ハマウイング」

児玉 勇（横浜市）

横浜市では、自然エネルギーの利用促進や地球温暖化対策の一環として、そして、環境行動都市の実現に向けて、市民一人ひとりが具体的な行動を起こす契機とすることを目的として、昨年3月に、稼働を開始した風力発電は「ハマウイング」と名づけられ順調に稼働しています。

市はその一環として「エコハマツアー」として定期的に見学会を催していますが、11月29日、エネルギー部会メンバー8名で、市で準備されたバスで参加しました。

寒い午後でしたが、ハマ風に向かって回転する勇壮な「ハマウイング」を見上げ、「地球温暖化防止活動」のシンボルとしての活躍を期待せざるを得ませんでした。その概要は

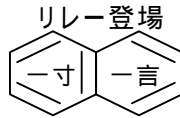
メーカー Vestas（デンマーク） 定格出力 1,980KW（880世帯に供給可）

ハブ高さ 78m ローター直径 80m ブレード枚数 3枚

風車の詳細諸元・見学会案内は、インターネットで「横浜市 風力発電」で検索してください。

尚、見学会は省エネに取り組む周辺の企業見学とセットになっています。





四国 88ヶ所巡拝を終えて

安丸 元一（茅ヶ崎市）

私たち夫婦は、四国 88ヶ所歩き巡拝を結願しました。特別な信仰心、動機があったわけではなく、巡礼発心の地に生まれ育ち、一度は「へんろ」をと考えていまして、今回・お蔭様で実現しました。

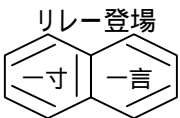
お世話になった多くの人々や社会へのお礼と、お付き合いいただいている方々のご健勝を祈りつつの巡拝でしたし、各地方都市と同様に故郷が持続可能な社会へ発展して行く様を確認する旅でもありました。

昔ながらの「お接待」も出会った多くの人々から受けました。世の中にこの気持があれば、争いも無く、平和な世になるでしょうし、これは現代ボランティアの原点かも知れません。疲れきった道筋での、「ごくろうさま」の一言、喉の渇きに、いただいた「みかん」「いちじく」の味は忘れられず、また期待した食堂もなく杜甫に暮れているときの、「握り飯」は格別の味でした。それにも増しての感激は、通学途中

の中学生、高校生からの挨拶で、ある山間部の中学生（中には高校生も）の殆ど全員からもらった「お早うございます」には日本の将来も満更でない思いでした。

山頂や、山腹から眺めた瀬戸内、太平洋、そして山野は見事で、今まで目にした内外の景観に勝るものでした。しかし少し下界に下ると、鹿・猿・猪等動物の元気な営みが見える雑木林に比較し、30~50年前に植林し管理されなく昼間も暗く小鳥のさえずりも無い杉林や竹林、建設中の高速道路、数箇所ですが山頂に並ぶ発電風車、また人を忘れた新県道・国道、そして新産業・新作物に取り組む地域もある反面寂れた街並みや荒廃した田畑、高齢者のみの稲作を目にし、持続可能な自然との共生・街づくりについて考えさせられた 1,5 ヶ月でした。

今回は高橋 尚道さんをお願いします。



グリーン部会に参加 一年を振り返り

上田 恵一（横浜市）

先の会報で新入会員の紹介がありました。大歓迎。皆様ご遠慮なさらず、お互いの経験、体験、思いをぶつけ、楽しい活気あるグループにして下さい。

前号で上野一郎さんご提案の《中小企業向け ISO14001 支援サポート》時期を得たご提案だと思います。既存の縦割り部会にとらわれず、横断的にタスクホース形式で関心のある人々が集りお互いに知恵を持寄り講習会勉強会を開けば、個人で努力するより挫折も無く、資格者も生れ、実行集団として具体化出来ます。今後の NPO 運営の財政的基盤に成ると思います。

グリーン部会で、私共の悩みはネーミングの問題です。『グリーン購入・GNP』は法律で決められているのです。普通の人には解りにくく、グリーンの意味から説明しなければなりません。日本語として

馴染めません。

何故《環境に優しい購買 or 消費活動》と法令で表現出来ないのか、皆さん考えて下さい。TV などの報道を見ても真剣な番組もある反面、ムード的な地球温暖化のキャンペーンや有名タレントのコメントと共に、《食べ物の食い散らかし番組》が余りにも氾濫しております。先の COP-13 の国際会議で Action Network の NGO から《化石賞》を頂きましたが、解る気が致します。西欧に比べ、余りにも実効性のある法律が無さ過ぎます。”プラ容器包装法”にしても《お金の取り易い処から取る》取り敢えずの法令でしか有りません。炭素消費の削減奨励 or 課徴的な普遍的政令の待たれる処です。

平成 20 年《あれ！もう 20 年経ちました、この間何があったけ？！の思い》の私には 20 年でした。しかし、《矛盾とは知りつつも個人の意見は尊重しながら少しずつ環境に優しい世の中に変える運動》が GNP です、それでグリーン部会に入りました。今年も決意を新たに進めましょう。

【私のささやかな夢】デスポーザーは下水道行政や環境行政からもマイナスイメージの物です。でも高層団地や高齢化社会、家庭ごみの合理的処理で環

境に貢献する新用途開発が出来るのではと思います。都心部と郊外農村生産地域をリンクした堆肥 or 土壌改質材としてローカルなリサイクルが出来ないかと夢を持っております。反対意見の中に固形物を再可溶化にして水質悪化と浄化エネルギーを問題にし

ておりますが、其の量がどの位なのか、データがあれば資料を教えてください。

次は、石山れいし様にお願いします。

掲示板

第14回・市民環境活動報告会 開催のお知らせ

日時：2月17日(日)10~16時

会場：かながわ県民センター2Fホール

今年度も、県温暖化防止活動推進員や外部環境活動グループを含め6つの口頭発表とポスターセッションによる活動報告ならびに、基調講演として東京大学 生産技術研究所、沖大幹教授による「地球規模の水危機」が行われます。会員はじめ多くの方をお誘いいただき、ぜひご参加ください。(詳細は同封のチラシをご覧ください。K・リーダー会ホームページにも掲載されています。)

実行委員長 猪股 満智子

事務局からのお願い

会員の皆様で、住所等、連絡先が変更になった方は、すみやかに代表理事 吉田榮一までご連絡お願いします。

〒233-0012 横浜市港南区上永谷 3-7-2

E-mail : ey-yoshida@c3-net.ne.jp

FAX : 045-844-9622

広報部から会報発行について

会報編集・発行は会員の皆様のご協力により成り立っています。投稿、編集、発行へのご協力をお願いします。会報発行作業は通常、偶数月最初の週末、土曜日か日曜日の午前中に横浜駅西口、かながわ県民センターで行っています。参加可能な方は広報部(長村)までご連絡ください。

本号に掲載されているカットのイラストは、小田原市在住の米山有美さんによるものです。



編集後記

2008年が始まりました。お正月といえば年賀状ですが、再生紙はがきの古紙混入率を製紙会社が偽造していたことが発覚しました。昨年からは、食品業界をはじめとした偽造が相次ぎ、商品表示をどこまで信用してよいかわからなくなってきています。社会の規範となるべき企業のこのような偽造がニュースになるたびに、同じ日本人として情けなくなると同時に、未来を担う子供たちへの影響が心配になります。私たち消費者が商品表示を見て正しい判断・選択ができるよう、正直に正しい情報、嘘のない商品を提供してほしいものです。

広報部 杉山 陽絵



発行人：特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会

代表理事 吉田 榮一

編集人：広報部長 鎌田 裕二

広報部員(編集代行) 長村 吉洋

TEL : 044-870-4878, FAX : 044-870-4879

発行日：2008年1月27日

ホームページ：

http://members.at.infoseek.co.jp/k_leader/